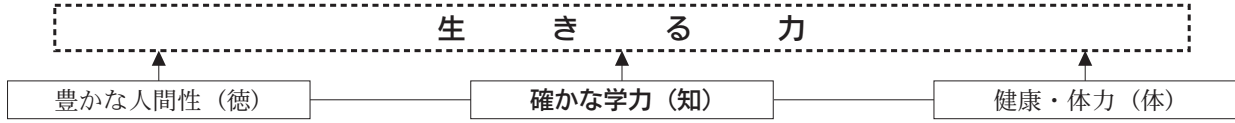


平成27年度全国学力・学習状況調査の結果公表について

奥尻町教育委員会では、学校の設置管理者としての説明責任を果たし、今後の施策の改善につなげていくことが大切であることから、上記標題の調査（平成27年4月21日実施）について、学校名や個人名が特定されない範囲で結果を公表することとしました。

新しい学習指導要領では、子どもたちの「生きる力」をよりいっそう育むことを目指しています。



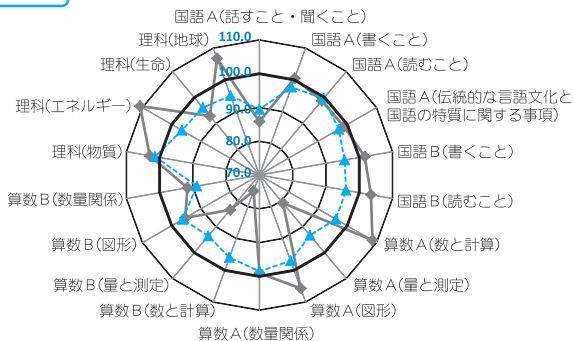
- * 「生きる力」を、「知・徳・体」のバランスのとれた力としてとらえ、変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな心、健やかな体の「知・徳・体」をバランスよく育てることが大切です。
- * 教育委員会や学校では、今日求められている学力を、知識・技能はもとより、思考力や判断力、表現力、学ぶ意欲などを含めた学力ととらえています。
- * 今回の調査結果は、こうした学力の特定の一部分の結果であることに留意してください。
- * 「生きる力」を育むためには、学校だけではなく、ご家庭や地域など町全体で子どもたちの教育に取り組むことが重要です。

■奥尻町内小中学校の状況及び学力向上策（学校数：小学校2校、6年生：22名、中学校2校、3年生12名）

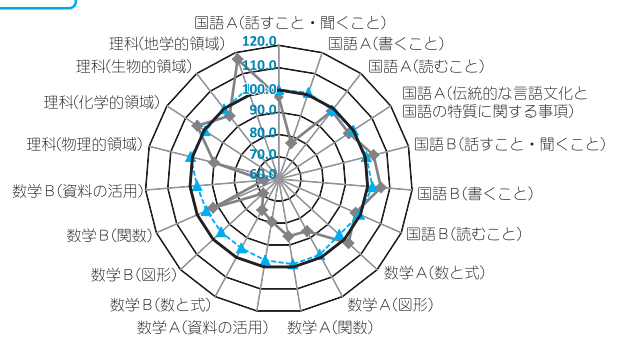
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び奥尻町の状況をレーダーチャートで示したものを（町の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出）

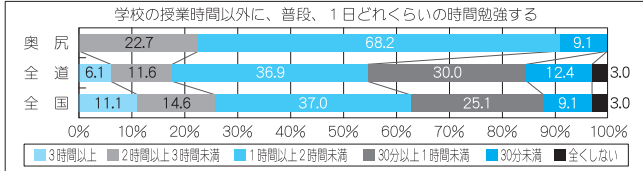
小学校



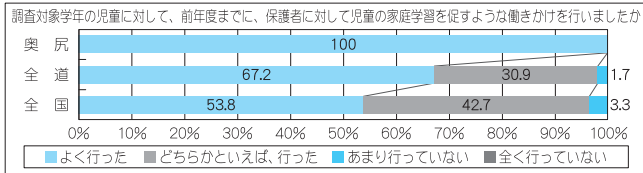
中学校



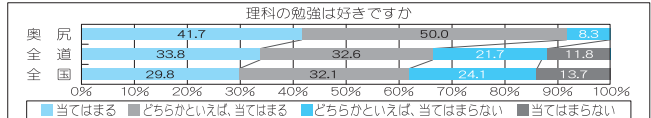
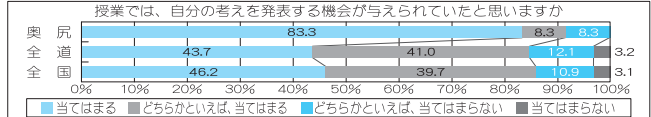
【児童質問紙調査】



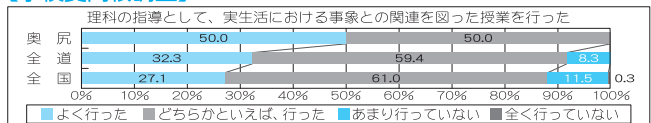
【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科

- 国語では、A「書くこと」、B「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。
- 算数では、A「数と計算」「図形」で全国を上回っている。
- 理科では、「物質」「エネルギー」「地球」で全国を上回っている。

児童質問紙

- 学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上勉強すると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。

学校質問紙

- 全ての学校が、調査対象学年の児童に対して、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを「よく行った」と回答している。

〈まとめ〉

- 学校では、保護者に家庭学習の働きかけを積極的に行い連携を深めており、学校の授業以外に、普段、1日当たり1時間以上勉強する児童が9割以上いることから、家庭学習の習慣が着実に身に付いており、学力の定着につながっていると考えられる。
- 指導方法の工夫改善を図るための教職員の専門性や指導力の向上を町全体で進めていることから、算数Aにおける「数と計算」「図形」において児童の学力が確実に身に付いていると考えられる。

【分析】

教科

- 国語では、B「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。
- 数学では、A「数と式」で全国を上回っている。
- 理科では、「化学的領域」「地学的領域」で全国を上回っている。

生徒質問紙

- 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。
- 理科の勉強が「好き」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。

学校質問紙

- 理科の指導として、実生活における事象と関連を図った授業を「よく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。

〈まとめ〉

- 授業において、自分の考えを発表する機会が与えられた経験が豊富であることから、実生活の中で自信をもって自分の思いを表現することができ、国語Bの「話すこと・聞くこと」「書くこと」の向上につながっていると考えられる。
- 理科については、実生活における事象との関連を図った授業を行っていることもあり、生徒の興味・関心が高く、学力の向上がみられると考えられる。

【奥尻町の学力向上策】

- ◎家庭との連携を深め、生活習慣のリズム化や家庭学習の定着化に努める。
- ◎指導方法の工夫改善を図るための教職員の専門性や指導力の向上を目指す。
- ◎巡回指導教員を活用した習熟度別学習指導やチームティーチング(複数の教師が協力して指導にあたる方式)による指導の充実を図る。
- ◎放課後や長期休業中における補充的なサポートを充実し、基礎的・基本的な内容を定着させる。